

2026年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 2 月10日

上 場 会 社 名 株式会社ニッピ 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 伊藤 裕子
問合せ先責任者 （役職名） 取締役経理部長 （氏名） 井上 善之 TEL 03-3888-5117
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 3 月期第 3 四半期の連結業績（2025年 4 月 1 日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	35,674	△4.8	2,787	7.3	2,927	10.0	1,914	1.7
2025年 3 月期第 3 四半期	37,468	1.7	2,597	6.0	2,661	7.0	1,882	5.3

（注）包括利益 2026年 3 月期第 3 四半期 2,765百万円（ 19.8%） 2025年 3 月期第 3 四半期 2,308百万円（ 2.0%）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期第 3 四半期	668.25	—
2025年 3 月期第 3 四半期	654.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	71,539	41,016	56.2
2025年 3 月期	70,172	40,569	56.8

（参考）自己資本 2026年 3 月期第 3 四半期 40,205百万円 2025年 3 月期 39,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	0.00	—	600.00	600.00
2026年 3 月期	—	0.00	—		
2026年 3 月期（予想）				633.00	633.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3 月期の連結業績予想（2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△0.3	3,800	4.8	3,800	5.1	2,600	5.8	904.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	2,889,000株	2025年3月期	2,889,000株
2026年3月期3Q	59,548株	2025年3月期	13,276株
2026年3月期3Q	2,864,905株	2025年3月期3Q	2,875,779株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られ、断続的な価格改定の浸透や内需の底堅さにより、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、原材料価格や物流・人件費の上昇が継続し、さらに米国の関税政策を巡る不確実性や、日中関係の悪化等を受けたインバウンド需要の鈍化懸念、不安定な為替動向等が景気を下押しするリスクとなっており、引き続き警戒を要する状況が続いております。

このような経営環境のもと、引き続き生産性の向上、製造費、販売費、管理費の見直し、高付加価値商品の開発などに取組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間は、コラーゲン・ケーシング事業は多品種少量化により生産性が低下し、皮革関連事業は中国を中心とした自動車市場の冷え込みにより販売が振るわず、それぞれ減益となりました。一方で、ゼラチン関連事業、化粧品関連事業、食品その他事業は順調に推移し、減収にはなったものの、利益面では増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、35,674百万円(前年同四半期比4.8%減)となり、営業利益は、2,787百万円(同7.3%増)、経常利益は、2,927百万円(同10.0%増)となりました。また、コラーゲン・ケーシング事業において一部不採算製造設備の整理を実施し、減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,914百万円(同1.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、ウィナーサイズ、着色ケーシングは堅調に推移したものの、フランクサイズが夏場の天候などの影響で苦戦しました。輸出販売は、北米向けが好調に推移したものの、アジア向けは価格競争激化の影響で減収となりました。利益面では原料費、人件費の上昇と販売品目の多品種少量化で生産効率が低下したことにより減益となりました。

この結果、売上高は、6,779百万円(前年同四半期比3.9%減)となり、営業利益及びセグメント利益は、456百万円(同48.4%減)となりました。

なお、富士宮工場において、一部不採算製造設備の整理を実施し、特別損失に減損損失432百万円を計上しております。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン販売は、カプセル用、食品用が苦戦し減収となりました。ペプタイド販売は、国内の医薬用途は好調に推移したものの、海外は価格競争激化により苦戦を強いられ、全体では減収となりました。利益面では、原料価格が安定してきたことに加え、由来原料や原料供給国の見直し、生産性の改善などでコストダウンを図り増益となりました。

この結果、売上高は、9,320百万円(同6.4%減)となり、営業利益は、1,752百万円(同58.4%増)、セグメント利益は、1,755百万円(同58.2%増)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品の販売は、堅調に推移し、健康食品の販売は、物価高騰による消費マインドの低下の影響はあったものの、引き続き「ニッピコラーゲン100」の固定客化が進んだことにより順調に推移しました。また、広告費の上昇により販売費は増加しましたが、増収増益での着地となりました。

この結果、売上高は、6,245百万円(同8.0%増)となり、営業利益及びセグメント利益は、783百万円(同29.1%増)となりました。

④ 皮革関連事業

皮革の販売は、アパレル用、オンラインショップが好調に推移したものの、紳士、婦人靴用革は、革靴の需要減により苦戦し、ハンドル用革の販売は、中国経済の減速と輸出車減少などの影響を受けた結果、減収減益となりました。

この結果、売上高は、4,456百万円(同21.2%減)となり、営業利益及びセグメント利益は、96百万円(同50.3%減)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地として、大阪府大阪市の土地賃貸事業は、中央区心斎橋における商業施設用地及び浪速区なんばにおける「なんばパークスサウス」(タイの高級ホテル、ライフスタイル型ホテル及びオフィスビル用地)として有効活用を図っております。

この結果、売上高は、794百万円(同0.5%減)、営業利益は、621百万円(同1.4%減)、セグメント利益は、621百万円(同1.4%減)となりました。

⑥ 食品その他事業

有機穀物は、安定した需要により堅調に推移しました。また、外食産業向けのイタリア輸入食材は、輸入為替の影響を受けながら減収となったものの利益改善が進みました。バイオ関連製品は、国内外製薬会社や民間研究機関を中心に順調に推移した結果、増益となりました。

この結果、売上高は、8,077百万円(同1.7%減)となり、営業利益は、508百万円(同9.7%増)、セグメント利益は、505百万円(同9.7%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、71,539百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,366百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が921百万円減少しましたが、現金及び預金が441百万円、投資有価証券が1,101百万円、自己株買付資金等によりその他流動資産が504百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、30,522百万円となり、前連結会計年度末と比べ919百万円増加しました。これは主に、でんさいネットの利用により支払手形及び買掛金が1,853百万円減少し、電子記録債務が2,415百万円増加したことに加えて、短期借入金が704百万円増加し、未払法人税等が469百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、41,016百万円となり、前連結会計年度末と比べ446百万円増加しました。これは主に、自己株買付により自己株式を590百万円取得した一方で、利益剰余金が189百万円、有価証券評価差額金が789百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,933	9,375
受取手形及び売掛金	8,482	8,871
商品及び製品	8,053	7,734
仕掛品	723	660
原材料及び貯蔵品	890	1,066
未収消費税等	60	132
その他	488	992
貸倒引当金	△57	△54
流動資産合計	27,574	28,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,772	6,383
機械装置及び運搬具（純額）	977	768
土地	28,522	28,522
リース資産（純額）	69	58
建設仮勘定	362	52
その他（純額）	208	206
有形固定資産合計	36,912	35,991
無形固定資産		
その他	209	188
無形固定資産合計	209	188
投資その他の資産		
投資有価証券	4,789	5,890
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	133	94
破産更生債権等	3	14
その他	585	622
貸倒引当金	△37	△42
投資その他の資産合計	5,474	6,580
固定資産合計	42,596	42,760
繰延資産	1	0
資産合計	70,172	71,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,742	4,889
電子記録債務	-	2,415
短期借入金	4,412	5,117
リース債務	21	14
未払法人税等	747	277
未払消費税等	39	120
賞与引当金	562	298
役員賞与引当金	41	21
その他	2,123	2,477
流動負債合計	14,692	15,630
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	6,060	6,052
長期末払金	39	1
リース債務	53	48
繰延税金負債	1,912	2,179
再評価に係る繰延税金負債	3,752	3,752
役員退職慰労引当金	562	340
退職給付に係る負債	2,009	2,003
資産除去債務	6	6
その他	412	407
固定負債合計	14,910	14,892
負債合計	29,603	30,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	23,466	23,655
自己株式	△40	△630
株主資本合計	29,760	29,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,456	2,246
繰延ヘッジ損益	12	64
土地再評価差額金	7,750	7,750
為替換算調整勘定	700	645
退職給付に係る調整累計額	157	139
その他の包括利益累計額合計	10,077	10,846
非支配株主持分	730	810
純資産合計	40,569	41,016
負債純資産合計	70,172	71,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	37,468	35,674
売上原価	27,582	25,301
売上総利益	9,885	10,373
販売費及び一般管理費	7,287	7,585
営業利益	2,597	2,787
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	121	148
為替差益	3	80
持分法による投資利益	25	10
その他	28	35
営業外収益合計	193	288
営業外費用		
支払利息	99	112
手形売却損	15	17
その他	13	18
営業外費用合計	129	148
経常利益	2,661	2,927
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	69	71
会員権売却益	2	-
特別利益合計	71	73
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	-	432
特別損失合計	0	434
税金等調整前四半期純利益	2,733	2,566
法人税、住民税及び事業税	778	661
法人税等調整額	7	△80
法人税等合計	785	581
四半期純利益	1,947	1,984
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,882	1,914

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,947	1,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323	790
繰延ヘッジ損益	△12	62
為替換算調整勘定	47	△54
退職給付に係る調整額	2	△17
その他の包括利益合計	361	780
四半期包括利益	2,308	2,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,245	2,682
非支配株主に係る四半期包括利益	63	82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コラーゲ ン・ケーシ ング事業	ゼラチン 関連事業	化粧品 関連事業	皮革 関連事業	賃貸・不 動産事業	食品その 他事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,057	9,957	5,781	5,655	798	8,217	37,468	—	37,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	—	—	0	—	3	△3	—
計	7,057	9,960	5,781	5,655	799	8,217	37,471	△3	37,468
セグメント利益	885	1,109	606	193	630	460	3,885	△1,287	2,597

(注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	コラーゲ ン・ケーシ ング事業	ゼラチン 関連事業	化粧品 関連事業	皮革 関連事業	賃貸・不 動産事業	食品その 他事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,779	9,320	6,245	4,456	794	8,077	35,674	—	35,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	—	—	0	—	3	△3	—
計	6,779	9,323	6,245	4,456	795	8,077	35,678	△3	35,674
セグメント利益	456	1,755	783	96	621	505	4,218	△1,431	2,787

(注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

コラーゲン・ケーシング事業において、将来にわたり採算の改善が見込めない一部の海外向け特別仕様製品の生産から撤退し、特別仕様製品を生産するための設備及び改造費用等の減損を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては432百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	984百万円	751百万円